

第16号

# 熱田高同窓会報

発行  
愛知県立熱田高等学校  
同窓会事務局  
TEL(052)-652-5858



同窓会ホームページ  
URL:<http://www.atsuta.gr.jp/>

熱田高校ホームページ  
URL:<http://www.atsuta-h.aichi-c.ed.jp/>



## 北角尚治校長による熱田高校現況報告

### 創立65周年を終えて

同窓会会長 佐々木 元彦

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成29年11月12日、名古屋国際ホテルに於いて創立65周年記念総会並びに祝賀会を開催することができました。ご来賓として歴代学校長・教職員の皆様のご臨席を賜り、一般会員併せて総勢300余名のご参加のもとに盛会のうちに終えることが出来ました。また、各回生幹事のお世話により、多数の同期会の開催がされました。これは、本会の将来の隆盛に大いに役立つ基礎です。お聞きするに、祝賀会の終了後の同期会では、どちらの回生も幹事のお骨折りで、多数の参加者を得ての会合であったとの声をお聞きしております。三々五々に恩師の方々を囲んでの盛り上がりを楽しんでいます。横の繋がりを密にするべく更なる工夫をされ、同期会の活性化を図ってくださることをお願い申し上げます。

創立65周年事業の為に会員の皆様から多大なご支援とご寄付を応募していただいたことに対し深く御礼申し上げます。左記の寄付事業を実施し、目的を達成することが出来ましたのでご報告申し上げます。

一、下巻取方式懸垂幕装置  
一、学校名看板(4棟4階南)  
一、校長室調度品の新調  
一、ウォータークーラー5台・他  
一、室内競技用応援旗  
教育環境作りの応援団の一員として、後輩諸君の勉学向上に資し、教育現場づくりのサポーター役として「母校で語ろうホームカミングデー」の定期開催を企画しております。  
2回目を迎える、この事業に参加し、OBの一人として熱田高校を訪れ、教育環境の現場をしっかりと視察し、老朽化した校舎・撤去すべき劣悪環境のプール・グラウンドの改善に物申す団体へと進化してみませんか。平成30年度は、11回生から20回生を中心にご案内をさせていただきます。

最後に、熱田高校同窓会の更なる発展のために、皆様方の賛同をいただき格別のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。皆様方のご健勝とご多幸を祈りご報告と致します。

平成29年12月吉日

創立65周年の年

校長 北角尚治



創立65周年を記念し、同窓会からは多くのものを寄贈していただきました。

四棟屋上の校名表示は新幹線からも臨むことができ、熱田高校の名を広めてくれると思います。校舎正面の懸垂幕は生徒を激励してくれま  
す。ウォータークーラーや部活動の応援幕は、日々部活動に励む生徒の力になります。そして、家具を整備していただいた校長室は、訪問客にも誇れるものとなりました。同窓会の皆様にも気軽に立ち寄りいただきたいと思ひます。

校長室の家具を整備するにあたり、古い棚を整理しました。周年ごとの記念誌や、古い写真について見入ってしまい、思いの外、時間の掛かる整理になりましたが、1回生からの卒業アルバム全巻を前にして、改めて歴史の重みを感じました。  
創立65周年記念祝賀会の案内が入ったこともあり、今年は多くの方から連絡をいただきました。また、直接来校もされました。丹下熱田区長様をはじめ、同窓生の方々がわざわざ立ち寄ってくださいました。1

回生の小野昭様からは百二十号の絵

を寄贈していただきました。かつて定時制でお勤めになった塩谷典先生からは御著書を贈っていただきました。それぞれに熱田高校への熱い思いを感じました。また、熱田区の区制80周年記念式典で熱田高校の名が出たり、他の場所でも同窓生に出会ったりする機会が多くあった一年でした。

そして、盛大に開催された創立65周年記念祝賀会は、たいへんな盛況で、多くの同窓生のみなさんと、多くの恩師の先生方にお会いすることができました。世代を超えた交流もあり、各方面で活躍する同窓生のみなさんとお話しすることもできました。すでに卒業生は2万6千人を越え、ますます裾野が広がっています。熱田高校の勢いを肌で感じた祝賀会でした。私自身も卒業生として、誇りに感じる事ができました。佐々木同窓会長様をはじめ、会の企画・運営に御尽力いただいた方々に御礼申し上げます。ありがとうございます。

年月を経て、熱田高校は名実ともに伝統校になってきました。卒業生が自分の原点に立ち返りたいときに、泰然としてそこにあるのが母校であると、強く感じたこの一年でした。

熱田高校65周年に寄せて

教頭 清水貴子



この4月の異動で、教頭に就任いたしました。熱田高校は、新任以来

8年間お世話になった学校で、まさかまた熱田高校で勤務できると思っております。20代の教員生活の大半を熱田高校で過ごし、その間、大ベテランの先生方とエネルギーのある熱高生に育てられ、今の自分があると感謝しております。

11月12日には、創立65周年記念総会・祝賀会に出席させていただきました。第4代校長、日比野文一先生はじめ、歴代の校長先生方のお話を伺い、熱田の歴史と伝統を改めて実感しました。また、昔同時期に勤務し、色々御指導いただいた先生方にも久々にお会いし、昔の熱田高校の話に花が咲きました。また、懐かしい生徒の顔も多く見られました。祝賀会最後の校歌斉唱では、北角尚治校長が作成した、荻原井泉水作詞の歌詞がスクロールする画像に合わせて、約20年振りに指揮をさせていただきました。かつて秦賢吾先生の後を引き継ぎ熱田高校に勤務していた頃、寒い体育館で、入学式・卒業式の吹奏楽部の校歌演奏の指揮をして

いたことが懐かしく思い出されました。また歓送迎会や忘年会の最後には必ず教員同士が円になって肩を組み、割り箸を指揮棒にして校歌を皆で歌ったことも貴重な思い出です。  
このような温かな教員、生徒に恵まれた職場でこうして再び勤められる幸せを毎日感じております。そして、この校風が今も引き継がれているのは、同窓会の皆様のおかげと感謝いたします。

今年は、65周年を記念して、懸垂幕や部活動の応援旗、ウォータークーラー等、本校に同窓会から多くのものを寄贈していただきました。今も文武両道の熱田は健在です。同窓会の皆様の応援のもと、全校生徒約960名のうち、87%が部活動に所属し、生き生きと活動しています。

時々、懐かしい学校を見に、卒業生の方々がフラッと立ち寄ってくださいます。いつでも同窓会の皆様は気軽に足をお運びいただける熱田高校であるよう、現職教員として努めて参りたいと思ひます。今後も、引き続き熱高生のために御支援、御協力いただきますよう、よろしくお願ひいたします。



創立 65 周年寄贈目録

下巻取方式懸垂幕装置



学校名看板 (4 棟 4 階南壁面)



校長室調度品の新調



ウォータークーラー 5 台新調



室内競技用応援旗



その他

- ・ 門扉の塗装 (東西南北)
- ・ 校誌『熱田』の編纂



受付体制完了



混雑する受付風景



司会者による案内の様子



ご来賓控室の様子



佐々木元彦 同窓会長の挨拶



ご来賓代表挨拶 第 8 代 日下英之校長



ご列席の歴代校長先生



発表者の役員



近況報告をされる北角尚治 現校長



乾杯のご発声 第 4 代日比野文一校長（御年 96 歳）



日比野校長と語る 2 回生の皆様



吉村先生を囲んで 11 回生の皆様



ご来賓の皆様 記念写真



1 回生の皆様



16 回生の皆様



21 回生の皆様



DVD を見入る参加者



15 回生の皆様



万歳三唱の音頭 第 13 代神野秀雄校長



11 回生の皆様



同期会 5 回生の皆様



八谷先生を囲んで

司会を担当して

42 回生 黒宮 千香子

総会と祝賀会の司会を担当させていただきましたが、残念ながら同世代の出席者の方は、ほとんど居ませんでした。ご来賓としてご出席いただいた先生方の中に、20 年前とほとんど変わらないお顔を幾つも見つけることができました。



現在の住まいは東京、同級生ともほとんど会う機会はありません。だんだん高校時代の記憶も薄れてきました。今は、SNS で友達と繋がっている感じだけはあるので、それで満足していましたが、やっぱり同級生には会いたいね。

東京に戻る新幹線から、校舎の壁面に新しく設置された「熱田高校」の文字を確認でき、千香子、頑張れと、背中を押される気がしました。最後に、テレビを見て応援してください、嬉しかったです。ありがとうございます。

これからも頑張ります。  
(テレビ朝日リポーター)

無事済んだ総会と同期会

15 回生 石田 直城



総会と祝賀会を担当させていただきましたが、無事終了できたことに感謝申し上げます。

おかげさまで、300 人を超える同窓生で会は大賑わい、楽しい時を過ごすことができました。今までの違いは、現役校長が学校紹介に映像を使って紹介されたこと、そして校歌斉唱も映像で。

時代を感じます。さらに進行司会を 42 回生の黒宮千香子さんをお願いできたこと。彼女は現在フリーのアナウンサーで、テレビ朝日の羽鳥慎一モーニングショーでリポーターを務めています。事前に進行の打合せをおこなえなかったにも関わらず当日の 30 分程の簡単な説明で、完璧。さらに当日台本にない役割が変わったり、飛び込みの登場があったり、ドタバタの中で、さすがプロ、スムーズな進行で違和感なく無事に終えることができました。

今回一番感じたことは、1 回生も 80 歳、私達の回生も、15 歳で高校に入学した時が創立 15 周年目で 65 周年イコール 65 歳となり、同期生も皆定年。私達の年代も含め、高齢化社会の工夫が必要か？

今回は着席での懇親会という設営も検討しなくてはということですが。

同窓会終了後には、同期会を開催し、百名近くの同期生が集い、懇親を深めました。同年なのですが、10 歳くらいの年齢幅を感じ、健康と孫の話に花が咲きました。やっぱり女性陣は元気。

創立 65 周年を寿ぐ

19 回生 木村 隆秀



熱田高校を卒業して四十有余年が経ちました。今回も記念総会・祝賀

会が賑やかに開催されました。同窓の先輩諸氏とお目にかかり、有意義なひとときを過ごさせていただきました。とができました。

私は総会に向け、募金部会の部長のお役をいただきました。委員の皆様のご尽力のもと、会合を重ね、目標に向かい活動をさせていただくことができました。募金や協賛広告にご協力をくださいました皆様に感謝申し上げます。おかげさまで皆様のご厚意により、母校へ記念品の贈呈をさせていただくことができ、本当にありがとうございます。

さて、総会・祝賀会では、恩師第 4 代校長日比野文一先生の送迎のお

役をいただきました。先生は 96 歳とのことですが、車中での会話ではご年齢を全く感じさせず 19 回生の私に向かい、「49 年卒ですね。私が熱田を去った年です」と、瞬時に答えられたことに、大変驚きを感じました。

また祝賀会では、前募金部長長岩淵先輩 (3 回生)・大屋先輩 (5 回生) にも誘われ、3・5 回生の皆様と歓談をさせていただくことができました。

募金部会のメンバーの西田先輩からは「5 回生はたくさん出席してくださいましたよ」といわれました。西田先輩には部会でも一生懸命勤めていただきましたことを感謝しております。

私の同期 19 回生は、12 名の出席でした。2 年前に還暦同期会を開催しており、2 年ぶりの再会となりました。それぞれ素敵に歳を重ねておられ、昔話に花を咲かせることができました。祝賀会終了後場所を変え新たな同期生も加わり約 50 名で賑やかな同期会が開催されました。



# がんばれ熱高生

今回は2人の旧職員と、地元熱田区で活躍されているOB2人に原稿を依頼しました。本校で教頭を勤められた二村鉄男先生、新任で赴任された3年間政治・経済を担当した大竹由紀子（旧姓吉村）先生。小神一夫氏は21回生で現白鳥小学校校長、丹下昌彦氏は22回生で現熱田区役所区長をされています。熱高生のためにその心の内を語っていただきます。

## 受け継ぎ伝える

### 二村 鉄男



昭和28年4月14日付、朝日新聞に「熱田高校新校舎な

る。きょう生徒163名が初授業」という見出しで、県下随一の設備を紹介する記事が載りました。それから65年、今では卒業生も2万6千余名となり、それぞれの社会的活躍のことも耳にします。

わたしは、昭和42年度から昭和63年度までの22年間、熱高にお世話になり退職しました。この間、頃の自分の生き方について心掛けている3つのことを、いろいろの教育活動の中で生かそうと努めました。「明るく」「真面目に」「工夫して」

の3つです。

第一の「明るさ」について、教育は雰囲気だと言われますが、温かく信頼に充ちた人間関係があつて、はじめて教育の効果は生まれるものだと思います。学習は明るい気持ちですることが必要です。

第二の「真面目さ」について、けじめのあるきちんとした生活態度は、事を成し遂げ役割を果たすための不可欠の要件です。第三の「工夫して」について、いろいろの障害を

のり越えたり、より良い成果を生み出すには、工夫が必要です。工夫こそが積極的に生きる



塩谷先生と語らう

ことの証です。

いまでも、この3つのことを、わたしの信条として生活の中で具現することを心掛けています。

在校生のみなさん！教科の学習に諸行事の活動・クラス活動・クラブ活動等への積極的な参加と、その中で培われる連帯感の醸成に努めてください。良き友も、きつと得られることでしょう。

「僕の前に道はない、僕のうしろに道は出来る。」という、開路者の心をもって高校生活を送って下さい。

それが熱高の伝統を受け継ぎ、伝えることになるのです。ご健闘を!!

(元熱田高校教頭)

## 私にとつての熱田高校

### 50年余を経ての再会

#### 大竹由紀子(旧姓吉村)



昭和40年南山大学経済学部を卒業した私は高3の「政治経済」を担当した。年

齢差は姉学妹に近い。当時は雪がよく降り「授業は取り戻せるが、雪は今日のみ」と生徒達と雪合戦をして授業を放棄し職員室で大目玉を食らったこともある。また六法全書を持ち込み可として「労働三法を述べよ」と、わら半紙1枚の記述試験をし、その答案用紙1学年六百枚を

自宅で未明まで採点したりした。想えば、若く無鉄砲だった。歲月は流れ、50年余を経た昨年の暮れ思いがけないうれしいことがあった。

私は、総務省の行政相談委員を29年務めていて、国土交通省の「名古屋港に賑わいを創出する」委員や、クルーズ船誘致等の会議にも加わった。その過程で、名古屋商工会議所副会頭、12回生藤森利雄氏に再会した。このめぐり逢いは、12回生古稀同期会開催への動きにも繋がることになった。他校への勤務のない3年間の奉職なので、私には熱田高校には特別な愛着がある。

関わった11・12・13回生にも、企業のトップ・経営者・大学教授・医師・歯科医・教師・映画監督・画家等、活躍する方々は枚挙に暇がない。担任はなかったけれど若き日、真摯に向き合った生徒達との今に続く交流は、私にとつて誇りであり、宝物である。



藍綬褒章  
(行政相談功労)  
受章日  
(H. 27. 5. 15)



藍綬褒章受章当日、天皇陛下拝謁時は、受章者と配偶者に分かれて整列し、その間にある絨毯の道を陛下が厳かに歩まれた。50センチの近くに來られた陛下は、にっこりとアイコンタクトをしてくださった。日々の激務にも関わらず、優しい目をさされていたのが印象深い。

背筋を伸ばして、前を向いて

21回生 小神 一夫



今年の6月10日、21回生の同窓会(還暦を祝う会)に参加しました。久しぶりに仲間と

会うと、高校時代の思い出がよみがえるものです。

私は、バレー部に所属し、戦力ではなかったけれども、2年半続けたことが自信になっています。

高校の外周りをサーキットトレーニングしたこと、週に一回ほどしか体育館が使えず、ほとんど外で練習していたことが懐かしく思い出されます。サッカー部は全国大会に出場。年末、テレビを見て、同級生に声援を送っていました。体育の授業

でいえば、雨の中のサッカーゲーム。通常のコートで、ボールをセンターラインに十数個おき、全員でサッカーしたのをよく覚えています。

よき青春時代を送ることができたのも、熱田高校での先生方や仲間のお陰だと思っています。

きっと、この有意義な高校生活が、教師になろうと思わせた、人生の分岐点だと言えます。

今年度で教員生活38年。いよいよ退職を迎えます。葵小・大手小・田代小・山田小・東桜小・高木小・教育委員会・汐路小・白鳥小学校に勤務し、その間社会科の全国研究大会の会場校を二度経験させていただきました。

現在白鳥小学校では、ICT活用モデル校として、協働的な学習に取り組んでいます。

最後に先輩として、後輩のみなさんにお伝えすることは「いつも、背筋を伸ばして、前を向いて元気に歩く」ことです。

姿勢悪く、下を向いて歩いていると、運氣が逃げるように思います。元気な人(健康だけでなく、心がタフな人)ほど、元気な人との出会いが多いように思います。いつも笑顔

が絶えない人の周りには、笑顔の絶えない元気な人が集まるように思うのです。もう少し大きめに言えば、

「日ごろの行動の仕方を変えることが、人生を変えよう」と思



社会科全国大会で挨拶(28.10)

きるこれからの時代を「先行き不透明」とよく言われますが、時代を切り拓くのは皆さんです。社会を肯定的に見据え、一歩一歩確実に歩んでほしいと思います。これからも「熱高生」を応援していきます。

気づきの気持ちと

目標を持つとう



22回生 丹下昌彦  
熱田高校創立65周年おめでとうございます。歴史の節目に立ち会えることができるのは素晴らしいことです。

実は、熱田区も今年、区制80周年を迎えました。皆さん熱田のまちをよくご存知ですか？

私は熱田区で育ち、自転車通学でしたが、当時は毎日の生活に馴染んだ風景に、熱田の魅力を十分に感じることができませんでした。し

かし、熱田区には歴史的・文化的資産が重層的に存在します。1900年の歴史を誇る熱田神宮。神話の時代から登場する、日本武尊や草薙御剣。頼朝・信長・家康など武将ゆかりの地。東海道の宿場の面影を残す宮の渡し公園。さらにモノづくりの文化が活きるまち。

こうした熱田のまちそのものをブランドとし、その魅力を区内外に発信する「熱田ブランド戦略」に取り組んできました。これは3年前から目標を立て、産・学・官・地域が連携して練り上げてきた計画です。古代から今日に至る「悠久のまち熱田」を表すキーワード「君を待ちまち 熱田」とシンボルマークを区民の皆さんの投票で決めました。熱田の頭文字の「a」と、歴史・伝統



を巨木の年輪と鳥居でデザインして  
います。

熱田は魅力にあふれたまちです。  
ただし、気づかずに通り過ぎれば単  
なる景色になります。興味を持たば  
視野が広がります。熱田で過ごす3  
年間「気づき」の時を過ごしてくだ  
さい。

もう一つのお願いは、学業でもプ  
ライベートでも、目標を持つこと  
です。そして、その目標も「いつかは」  
ではなく「いつまでに」を目指して  
ほしい。期限のある目標は実現でき、  
期限のない目標は夢物語です。

人が伸びるときとは、壁を乗り越  
えるときです。オリンピックでメダ  
ルを取るために、選手が血と涙を流  
すような練習をしていることは、み  
んなが知っています。でも、自分の  
ことになる、それを忘れて楽な方  
へ向かってしまいます。電気・ガス  
や石油で動く機械と違い、人間のエ  
ネルギーは目標達成を目指す心意気  
です。押し付けのノルマに行動意欲  
は湧きません。我慢できないのが当  
然で、だからこそ自分で心から「こ  
うやりたい」「こうなりたい」という  
目標を持つことが大切です。

努力している人すべてが報われ  
るわけではありませんが、成功した  
人はすべからず努力しています。ま  
してや奇跡はあきらめない人にしか

舞い降りません。目標を持てば人生  
がダイナミックになります。  
がんばれ熱高生。

同期会便り

65周年同窓会並びに祝賀会

6 回生 道清 吉美



名古屋国際  
ホテルに於い  
て、熱田高校  
創立 65 周年

記念同窓会総  
会並びに祝賀会が、歴代校長・恩  
師・同窓生総勢 300 名の参加によ  
り、盛大に開催された。

記念式典の前半の総会は、東京で  
テレビ朝日アナウンサーとして活躍  
しておられる、42 回生黒宮千賀子  
さんの司会で、式次第に従い、来賓  
のご挨拶・経過報告・審議事項が順  
調に進められました。

後半の部は、総会と同じく黒宮千  
賀子さんの司会のもと、第 4 代日比  
野文一校長の乾杯のご発声で、創立  
65 周年の祝宴が始まりました。

司会者の慣れた、さわやかな進  
行。久しぶりに逢った恩師・先輩・  
後輩との歓談の途中では、集合写真  
や校歌斉唱などを挿みながら、和や



同期生と語る道清氏（前列左）

かに進行。締めは 13 代校長神野秀  
雄先生の音頭で万歳三唱。熱田高校  
の発展と出席者各位の健勝を祈念し  
て、祝賀会は閉会となりました。

記念総会・祝賀会の宴も盛況とい  
うか、大成功のうちに無事終えるこ  
とができました。この日に至るまで  
役員会は、記念式典の事業内容等に  
ついて検討してきました。会員名簿  
発刊のための部会、協賛広告・寄付  
集めのための募金委員会、式典部会  
を立ち上げ、1 年以上の準備期間を  
費やしてきました。

個人的に印象に残ったのは、現校  
長の北角尚治先生製作の母校近況映  
像。歌詞テロップを流す DVD 動画  
をスクリーンに映し出している、教頭  
の清水貴子先生による校歌斉唱。参  
加者が声高らかに合唱した校歌斉唱  
でした。歌詞の格調高さとともに、  
学校の近況に懐かしさを覚え、こみ  
上げてくるものがありました。あえて  
反省点といえば、祝賀会の規模が

大きかったのか、国際ホテルの会場  
が狭く、祝賀会懇親会の各回生のテ  
ーブルが小さく、ゆっくり歓談でき  
なかつたことです。また、途中で宴  
席を盛り上げる余興などがあっても  
よかつたかなと思えました。もつと  
も、我々 6 回生で二次会へ参加した  
のは、出席者の半数でしたが、それ  
でも結構楽しく過ごせました。

私達は、前回の 60 周年記念同窓会  
以降、毎年のように同期会を開催し  
ています。気が向いたときにお互い  
の元気を讃え合い、楽しく歓談でき  
ればいいかなと思いつつ、65 周年  
記念同窓会の盛り上がりから、熱田  
の連帯感の強さを再認識するのであ  
りました。その日の夜は充実感でよ  
く眠れました。

次回の 70 周年記念式典まで元氣  
に生活し活躍して、盛大な祝賀会を  
楽しみにしております。

7 回生の同期会

7 回生 小林 勝治



同窓会の流れの中  
で、同期会を開催  
しました。前回の  
時の出席者の中で

今回は 7 名の方が欠席でした。亡く  
なつた友もおり、体調不良の友・私  
用の友も居て、やはりこの年齢にな  
ると色々あります。当日は 10 名の

学友が集まりました。D・E組から1名ずつ、F組から3名、G組は5名の参加でした。少し淋しい集まりでありましたが、高校時代の思い出に花が咲きました。

また、現在の生活にも触れ、お互い歳を取った事を感じさせる場面もありました。前回の60周年の時は安藤先生、近藤先生が出席されたのですが、今回はやはり欠席。我々もあと3年程で喜寿を迎えます。何とか元気で喜寿を、そして70周年を迎えたいと話し合い別れました。ただ席上いろいろな情報が入って来ていたので、次の時は誘い合っただけの席にしようと話し合いました。

これまで7回生の同期会は全体では一度だけの気がします。A・B・Cのクラスの方は別に開いていたようですが、2年後には75才です。その時には、全クラス一緒に同期会を開きたいと思っています。7回生の皆さん元気で待っていてください。



学校紹介 DVDの様子

**We are, We are ATSUTA! の思い**

13 回生 宇佐美 光男



同窓会総会・祝賀会において北角校長からご紹介いただいた熱田高校紹介DVD。

そこで流れた声援は、  
We are, We are, We are ATSUTA!  
この声援はいつから広まったのかわからないが、行事や大会には、必ずこの大声援が飛び交い、全校挙げて盛り上がるのだろう。熱高生のほとぼり上げるのだらう。熱高生のほとぼりするエネルギーが感じられて嬉しかった。自分らの50年前の熱高祭のことなども懐かしく思い出された。同窓会総会のご案内をいただき、夏の終わりに母校へ出かけてみたら井上ゴムの工場がなくなりイオンタウンになっているのに驚いた。



熱田高校の教職員と話し込む(左)

校庭ではサッカー部やテニス部が活動しており、また学校祭の準備らしく大勢の生徒が出入りしていた。こうした活気は昔と変わらず良き伝統として受け継がれているようで、卒業生として嬉しくとても誇らしい。

同窓会総会後には13回生同期会が開催され旧交を温めた。特別にご参加いただいた二村鉄男先生・渡辺寛先生・齋藤玲子先生は若いころと全く変わらなそう澀刺とされていた。我ら「68歳の若造」には「君達の人生はこれから。人生を楽しめ」と激励をいただいた。集まったのはおよそ50名。高校時代の思い出や近況などを楽しく語り合ううちに、あつという間にお開きとなり全員で記念写真。次回は今回不参加だった人も誘ってより盛大な会になると思う。

ご準備いただきました同窓会役員の皆様、13回生幹事の皆様に、心から感謝申し上げます。

(元 熱田高校教頭)

**「サッカー」の繋がり**

14 回生 権田 勝美

熱田高校創立65周年おめでとうございます。

今回も5回生のサッカー部のOBである大村雅勇先生にお会いでき大変うれしく思っております。中学校

卒業時に熱田高校への進学を勧めていただきました。大村先生は中学2年のとき、新卒で体育の教師として赴任されました。県大会への出場や名古屋市大会での優勝とご指導していただきました。高校でもサッカーを続けたいと思い、熱田高校へ



インターハイ広島大会

進学しました。

熱田高校では6回生の万前秀男先生のご指導の下、3年次主将としてインターハイ広島大会に出場することができました。全国大会出場をきっかけに、関東の大学でサッカーをしたいという思いが強くなり、熱田



高校のOBが在学していた中央大学へ進学しました。大学生活で4年間サッカーを続けてこられたのはOBのおかげだと思っています。

最近では、60代のサッカーチームに入って楽しんでおりますが、そのチームにも70代の2回生の先輩がおみえです。

サッカーでつながる先輩・後輩の絆は、熱田高校サッカー部の歴史を感じます。いつまでも続いてほしいと思います。ありがとうございます。(元読売クラブ、ホンダFC)



14 回生 部活動アルバムより (後列左 3 人目)

第14 回生同期会の開催

14 回生 洲崎 和也



熱田高校創立 65 周年同窓会総会 祝賀会同日に、名古屋三越 9 階

の東洋軒で同期会を開催しました。

参加者は 68 名。私達は、60 歳の還暦以降、毎年開催しております。

すでに定年退職の歳を過ぎ、自分や奥さんの実家へ引越す人も多々あり、所在地が不明になる人、病気等で亡くなる人も増えました。開催案内の連絡数は、残念ながら徐々に減りつつあるのが現状です。

ただ、一部の多忙な自営業の人を除けば、自由な時間が取れる人達も多くなりました。ゴルフ会や旅行会や食事会・部活の同期会・旧クラスの集まり等、活発に活動を始めてもおります。

同期会当日は、福島義広会長の開会挨拶・乾杯で始まりました。司会者による参加者紹介、同期会員による三味線演奏の披露、ビンゴ大会、締めには真田利次元生徒会長の挨拶で閉会としました。

食事大変美味しく、楽しめた同期会となり、次開催時の再会を約して、三々五々夜の街を後に帰途に着きました。

19 回生同期会

19 回生 恒川 良三



5 年毎に開催される周年行事の記念総会・祝賀会の年がやってくるたびに「あれからもう 5 年が過ぎ

てしまったんだ」と驚きます。

私達 19 回生は、5 年前の創立 60

周年の時と、2 年前に還暦を迎えての同期会を開催しており、今回の同期会については、時間があまり空いてないということもあり、開催すべきか迷ってしまいました。そんなおりに周年行事の為の募金部会長を務められた木村隆秀君をはじめ、数人の仲間達から「せっかくの機会だから同期会やろう」という声もあり、開催を計画しました。

記念総会祝賀会への参加者は 12 名と少し淋しかったのですが、別会場で行った同期会へは約 50 名の参加がありました。皆さん還暦を迎えたこともあり、最初のうちはお互いの仕事環境の情報交換などの、お堅い話が目立ちました。しかし、時間が進むにつれ、話しっぷりはすっかり高校時代に戻り、定番の恋愛話など途切れることはありませんでした。皆さんがこんなに喜んでくれていた姿を拝見して、開催して本当に

よかったと思えました。

前述の 5 年前の同期会は、約 60 名、2 年前の還暦同期会は、95 名の参加がありました。今回も含めて 3 回の開催になりました。これまでの人生で、一番の青春といえる高校時代、『熱田』でなければできなかった当時の話をしたいと集まってくれたと思っております。

2015. 10. 11 19 回生の還暦を祝う会



今のパターンでいくと、5 年後の 70 周年に同期会ということになりますが、皆、今よりもっと時間もできる事でしょうから、間隔を詰めての開催を考えようと思っております。

事務局だより

会員名簿 2017 年版の申し込み

創立 65 周年記念版会員名簿は、平成 29 年 12 月紆余曲折はありましたが発刊。申込者へは発送を完了できました。注文後の印刷販売であり、増刷の予定は全くありません。ご購入を希望される方は、残部として、38 冊事務局にあります。お申し込みをお忘れの方は、熱田高校同窓会事務局宛にハガキで送付先・連絡先をご記入の上、申し込みください。なお、ご購入をされた会員各位は「会員名簿」の管理について、個人情報が出しにくいよう十分なるご留意をいただきますようお願い申し上げます。業者からの名簿の問い合わせ（進路先・住所・電話等）には同窓会は一切お答えしません。母校職員を装い、電話で進路先・住所・電話番号などを聞き

だす者がいるようですが、母校及び同窓会ではそのようなことは一切しておりません。

会員名簿に関しましては、同窓会（株）廣済堂に依頼しております。それ以外は、母校及び同窓会とは一切関係ありませんのでご注意ください。もし、ご不審な点がありましたら、（株）廣済堂または事務局までご連絡ください。

なお、名簿は同窓会会員のみにしか販売していません。



2017 版 12 月発行

今回の会員名簿に関して

表紙裏は、校舎を囲む周辺地域の変化があつて、校舎・校地を含む風景を取り換えました。2 ページ分の

熱田の写真記録添付。協賛広告の目次を掲載。内容の総ページ数は 63 3 広告等の総ページ数 30 あり、合計 663 ページとなりました。

あとがき

今回の会報は、創立 65 周年記念行事が開催された関係で、その報告が中心となっております。

最近のテレビを見ていて筆者が思うに、騒々しい番組ばかりが多くて心に響かないものばかりです。知識人と言われる方々も、ほとんど見当たりません。また、国際政治を見ると、世界の保守化が進み、バランス感覚を失ったような指導者ばかりに見えます。不寛容でゆとりのない時代を感じさせられます。

さて、15 号に引き続き「がんばれ熱高生」では、筆者の方々に気持ち良く原稿をお引き受けいただきました。

最後に、「会報」を作るにあたって

題字 初代書道教諭 名郷紫山



入学式のころ 桜が満開の校門

一番苦労する点は、どなたに原稿を依頼するのか、会員の皆様が、今何を会報に求めておられるのかということ。内容でお気づきのことやご意見のある方は会報係宛か事務局までお知らせください。

役員一覧

平成 29 年 11 月 12 日現在

会長	佐々木 元彦	1
副会長	波田 忠	1
	中野 道孝	2
	岩淵 正憲	3
	田中 三省	4
	西田 和子	5
	道清 吉美	6
	小林 勝治	7
	井上 亜夫	8
	武藤 史子	9
	近藤 一磨	10
	中村 日出夫	11
	森田 文二	12
	真木 伸一	13
	福島 義広	14
	石田 直城	15
	伊藤 武博	16
	柿崎 賢一	17
	山口 直彦	18
	木村 隆秀	19
	鬼頭 美子	20
佐々木 博	21	
須原 清成	24	
奥田 隆庸	25	
近藤 かをり	26	
野崎 時資	29	
山田 太郎	31	
樵山 泰久	36	
高橋 孝次	定 8	
事務局長	万前 秀男	6
書記	谷澤 伸	11
	小倉 美津夫	16
	畑中 正憲	26
	吉岡 寿樹	31
会計	神谷 和雄	15
	山口 実徳	定 9
監査	恒川 良三	19
	森 久勝	定 1
学校幹事	☆ 青木 宏憲	23
	鈴木 矢代子	21
	川辺 浩	23
	野村 弘昭	42
	☆印=代表幹事	